



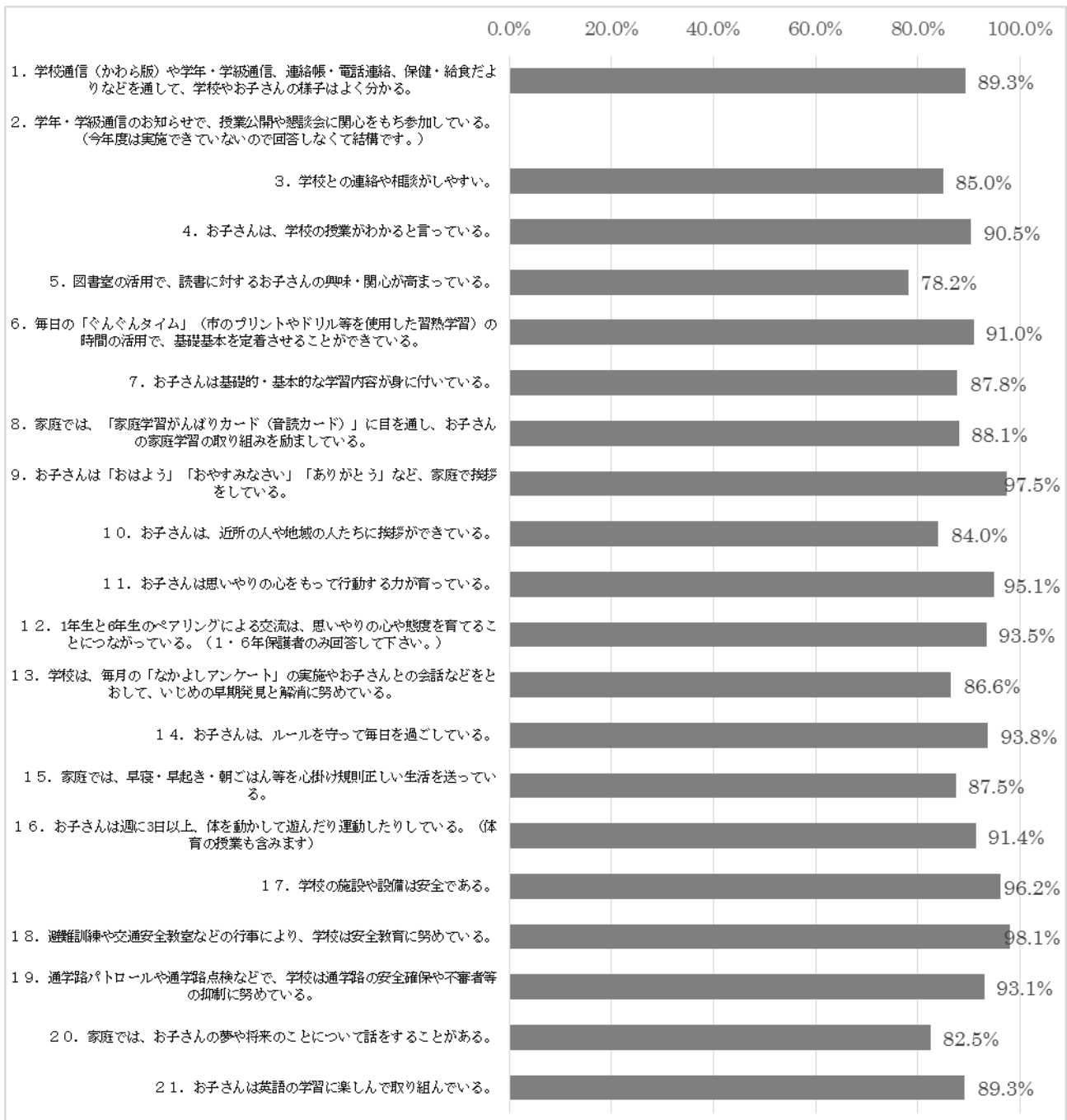
- ・よく考える子
- ・思いやりのある子
- ・たくましい子



令和4年7月20日

第1回学校評価保護者アンケート結果

過日実施いたしました、学校評価保護者アンケート結果がまとまりましたのでお知らせいたします。割合は、「よくあてはまる」と「ややあてはまる」の合計です。



<保護者アンケートの結果から>

学校評価アンケートでは大変お世話になりました。今年度から WEB アンケート形式に変わりましたが、児童数 453 名中 327 件回答が寄せられました。アンケート回収率は 72% でした。

結果については、ほとんどの項目で、前年同期とほぼ変わらぬ評価をいただくことができました。その中でも、「6. 毎日の「ぐんぐんタイム」(市のプリントやドリル等を使用した習熟学習)の時間の活用で、基礎基本を定着させることができている。」、「7. お子さんは基礎的・基本的な学習内容が身に付いている。」、「8. 家庭では、「家庭学習がんばりカード(音読カード)」に目を通し、お子さんの家庭学習の取り組みを励ましている。」、「13. 学校は、毎月の「なかよしアンケート」の実施やお子さんとの会話などをとおして、いじめの早期発見と解消に努めている」の4項目は結果がよくなりました。家庭でお子さんと学校生活の会話をしていただいたり、学校教育に関心をもって関わっていただいたりしている結果であると思います。改めて感謝申し上げます。

なお、アンケート結果より、次の項目を重点項目と定め、改善に向けて取り組んでいきたいと思っております。保護者の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

いじめの予防、早期発見、早期解消

「学校は、毎月の「仲良しアンケート」の実施などをとおして、いじめの早期発見と解消に努めている。」の項目は目標値 100 パーセントに対して結果は 86.6% でした。前年度同時期と比べて 5% 高くなりましたが低い水準です。

学校では今後も協力し合うことの大切さ、温かい言葉がけ、相手の考えを受け入れること、違いを認め合える活動など、授業を中心とすることはもちろんのこと、全教育活動のあらゆる場面を捉えてよりよい人間関係づくりを意識した指導をしてまいりたいと思っております。また、人権週間における人権に関する標語を考える活動や集会で標語を紹介する活動、道徳の授業などの諸活動を通して児童の「いじめを許さない」感覚を高めていきたいと思っております。

また、人権教育に関する日々の取組について学級通信等で児童・保護者に積極的に伝えるとともに、日頃から相談しやすい環境を整え、小さいいじめを見逃すことがないように早期発見、早期解消に努めていきます。

<児童用アンケートの結果から>

自分の将来について

児童用アンケートの中で、毎年 80% を大きく下回っている項目があります。それは「家庭で、お家の人と自分の将来について話をするところがある」です。

原因として、将来の夢は、具体的な「進学する学校名」や「職業名」を言えないといけないと思っている児童が多いことが挙げられると思っております。学校では、「こんな生き方で自分のよさを発揮したい」とか「こんな自分の個性を生かして人の役に立ちたい」といった将来の夢として良いし、荒唐無稽な夢でも未来に目を向けていけるように指導していきたいと思っております。

また、その子のよさを言葉で伝えたり、成長を共に喜んだりすることを通して、子どもたちが未来に希望をもって生きていけるようにしたり、子どもが夢を持てるように支援してきたいと思っております。